

第18回 田辺・弁慶映画祭
グランプリ受賞
観客賞、キネマイスター賞、フィルミネーション賞、わいず倶楽部賞

5冠獲得

多様性の時代。

ゾンビという生き方。

噛 む 家 族



東杏璃 阿部能丸 登坂香代子 隈坂健太 下東久美子 濱金香璃 本間駿佑 福田航
藤澤こころ 赤染萌 阿久澤菜々 田口ゆたか 齋藤英文 伊藤元人 辻智輝

プロデューサー:松永毅 | 撮影:馬淵ありさ 小川大智 真田大誠 | 録音:真田大誠 赤瀬駿太
編集:馬淵ありさ 真田大誠 辻智輝 | 助監督:真田大誠 | メイク:白田彩純 濱金香璃 馬淵ありさ | 制作:齋藤英文 田口ゆたか
脚本協力:辻智輝 | 美粧協力:東京ベルエポック美容専門学校 | ロケーション協力:馬淵洋史 | 応援:久保浩二
製作デスク:工藤麻由子 | 製作協力:パル企画 | 製作: ©テロワール | 2024年 | 49分 | 日本 | カラー | 16:9 | ステレオ

監督・脚本 : 馬淵ありさ

ゾンビになっても バズりたい

忘れちゃいけないか、ゾンビも人間だぜ。
馬淵ありさワールドは、なんだこれは！と、
見たことのないおかしな世界に笑っていても
気づけばザラリとしたリアルな舌触りが残る。
それが魅力。

ほんとはきっと、監督は笑顔の向こうですごく怒ってる。
そして、こんなひどい世界は無理せずサッサと逃げ出せ！
と言ってもらえてホッとする。
さて、次はどんな世界を見せてくれるのか、
すっごく楽しみ😊

犬童一心 (映画監督)

真面目なんだか不真面目なんだか、
笑っていいんだか、どうなんだか。
そんな映画が好きですが、馬淵さんの映画はまさにそれです。
好き放題やってるんで、観ると、
負けてられないなと元気が出ます。
これからも気持ち悪くて、楽しい映画を。

沖田修一 (映画監督)

ゾンビ系・社会派エンターテインメント



人を見ると理性を失い、噛みつき感染させてしまうゾンビの家族。

今まで人目につかないよう、家の中から一切出ることなく静かに暮らしていたが、

外を知らない娘のために父親は、人間と共存していきたい、せめて自分たちを受け入れてほしいと考えていた。

ある日、家の前で起こった事故の被害者に、娘が噛みついてしまったことをきっかけに、

このままゾンビ感染者を増やしていこうと試みる父親。

SNS上ではゾンビは物珍しく、多様性の時代だと一時は持てはやされるが、ゾンビー家の炎上をきっかけに世論が変わっていく。



監督・脚本:馬淵ありさ | プロデューサー:松永毅 | 撮影:馬淵ありさ 小川大智 真田大誠 | 録音:真田大誠 赤瀬駿太
編集:馬淵ありさ 真田大誠 辻智輝 | 助監督:真田大誠 | メイク:白田彩純 濱名香璃 馬淵ありさ | 制作:齋藤英文 田口ゆたか
脚本協力:辻智輝 | 美粧協力:東京ベルエポック美容専門学校 | ロケーション協力:馬淵洋史 | 応援:久保浩二
製作デスク:工藤麻由子 | 製作協力:バル企画 | 製作:©テロワール | 2024年 | 49分 | 日本 | カラー | 16:9 | ステレオ

田辺・弁慶セレクション2025
馬淵ありさ監督WEEK

全日、併映作品上映・舞台挨拶あり
テアトル新宿窓口にて 前売券も発売中 税込1,000円

5.9 (金)
~5.15 (木)

新宿駅東口 伊勢丹メンズ館階 B1F
洋テアトルシネマグループ
テアトル新宿
03 (3352) 1846 ttcg.jp

6.25 (水)
・6.26 (木)

梅田スカイビル (空中庭園) タワーイースト 3F
洋テアトルシネマグループ
テアトル梅田
(旧シネ・リーブル梅田)
06 (6440) 5930 ttcg.jp